

1. 第 11 期(2021 年 7 月～2022 年 6 月)事業報告・決算報告・監査報告

事業報告

1993 年 6 月 5 日に MELON は設立され、29 年目の事業が終了しました。公益財団法人に移行してからの事業期も第 11 期を終えました。2020 年春からの新型コロナウイルスの感染が続く中、第 11 期は、新しい生活様式に対応しながら、感染対策をしたりオンラインを積極的に活用したりして、少しずつ方法を変えながら活動しました。

活動の中心であるストップ温暖化センターみやぎ（宮城県地球温暖化防止活動推進センター）においては、宮城県から委託事業 1 件、補助事業 1 件を受託した他、民間団体経由の環境省補助事業を 1 件、民間の助成事業を 1 件受託しました。中でも宮城県地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)新規募集養成業務は 5 年目となり、第 11 期は新たに 11 名の推進員が誕生し、宮城県知事から委嘱を受けました。環境省の地域における地球温暖化防止活動促進事業は、ストップ温暖化センターみやぎの基盤を支える補助金として、第 10 期から始めた SDGs¹⁾教育の推進に関する「SDGs 環境出前講話」を 27 校に実施するとともに、自治体イベントへの出展等に活用しました。また、エフピコ環境基金を取得し、学校教育でのカリキュラムの編成と具体的な学習プログラムの作成・実践や気候変動対策の教材ツールを開発する「SDGs 教育プロジェクト」に取り組みました。

キリバス共和国関連の事業では、SDGs 環境出前講話の中でキリバス編として 17 校に実施しました。また、新型コロナウイルスの感染が拡大したキリバス共和国に支援物資を送るため、一般社団法人日本キリバス協会と協力して募金を呼びかけ、集まった約 200 万円の募金を使って 2022 年 3 月と 6 月にマスク、使い捨て手袋、手指消毒液を送付しました。

環境省からの請負事業「東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)運營業務」は 2010 年度からの請負期間が 12 年目となり、環境省の信頼を得ながら東北地方の自治体・団体等の中間支援の役割を果たしました。地域循環共生圏の構築に向けて、環境整備に取り組む団体の伴走支援や、地域の金融機関等とネットワークを形成するためのセミナー開催などを行いました。

情報センターでは、WEB・メールマガジン・情報紙・Facebook・Instagram を活用し多角的な情報発信を行うとともに、会員企業への取材活動や、セキュリティブックレットの企画・編集等を行いました。

部会・プロジェクトは、第 11 期もコロナ禍によりできることが制限された中での活動でしたが、海洋ごみ問題の普及啓発イベントの実施、「水の神さまプロジェクト」による水文化調査の継続、JA 婦人部での食と農の講演などを行いました。

「2030 年の MELON ～めざす姿と 21 のアクションプラン～」に基づき設置した政策提言委員会においては、毎月のパブリックコメント募集のチェックや意見発表を行いました。

1) SDGs : (Sustainable Development Goals) 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

【3年間の実績】

【表1】

	第9期(2019年7月 ～2020年6月)	第10期(2020年7月 ～2021年6月)	第11期(2021年7月 ～2022年6月)
会員数	543(入12・退48)	491(入8・退60)	479(入18・退30)
経常収益	54,364,489円	56,070,266円	55,502,789円
経常費用	53,291,472円	55,951,812円	53,816,460円
当期経常増減額	1,037,017円	118,454円	1,686,329円
一般正味財産期首残高	6,545,543円	7,546,560円	7,581,714円
一般正味財産期末残高	7,546,560円	7,581,714円	9,196,043円
基本金(指定正味財産)	45,546,958円	45,546,958円	45,546,958円
新たな事業・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県委託事業として「気候変動適応推進事業」を受託 ・Facebook、Instagramによる情報発信を開始 ・環境省に「太陽光発電の環境配慮ガイドライン(案)への意見書」を提出 ・宮城県に「宮城県上地下水一体官民連携運営事業実施方針(案)に係る意見書」を提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ストップ温暖化センターみやぎ20周年記念誌」発行 ・SDGs環境出前講話を開始し22校で実施 ・一般社団法人日本キリバス協会と協同でYoutubeチャンネル「ケンタロ・オノのキリバス物語」を立ち上げ環境学習動画を配信 ・コロナ禍でMELONフェスタをオンライン開催 ・宮城県に「環境基本計画(第4期)中間案への意見書」を提出 ・仙台市に「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)中間案への意見書」を提出 ・宮城県知事宛てに「福島第一原発・汚染処理水の海洋放出に関わる声明」を提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・「エフピコ環境基金」助成金を獲得し、SDGs教育プロジェクトを開始 ・一般社団法人日本キリバス協会と協同で新型コロナウイルス感染支援のキリバス共和国向け募金を実施 ・宮城県森林組合連合会との共催による森林トークイベントを開催 ・大塚商会ハートフル基金を獲得し、海洋ごみに関する調査、セミナーを開催 ・KHB(東日本放送)が日本財団の助成を受けて実施した海洋ごみ削減事業の実行委員長として協力 ・「宮城県食品ロス削減推進計画(案)に対する意見書」を提出

I. 重点テーマごとの活動報告

1. 脱炭素社会の形成に関する事業

2050年までに温室効果ガス排出の「実質ゼロ」を達成するために、脱炭素社会の形成をめざして以下の事業を行いました。

(1) 家庭における取り組み

家庭のエネルギー使用状況をヒアリングし省エネアドバイスを行う「うちエコ診断」を実施しました(150件)。

(2) 様々な団体・個人との連携

推進員や自治体などと連携し、イベント出展等を行いました。今期は企業との連携による活動がきっかけで入会してくれた企業も複数ありました。

(3) 行政等の助成・委託事業

環境省補助事業「地域における地球温暖化防止活動促進事業」、宮城県補助事業「うちエコ診断実施支援事業補助金」「地球温暖化防止活動推進員候補者募集及び養成研修」、宮城県委託事業「気候変動適応推進事業」を受託し実施しました。大塚商会ハートフル基金、エフピコ環境基金の助成を受けました。

(4) キリバス共和国関連事業

一般社団法人日本キリバス協会（代表理事ケンタロ・オノ氏）の協力の下、以下の事業を実施しました。

新型コロナウイルスの感染が拡大したキリバス共和国に支援物資を送るため、募金を呼びかけ、集まった約 200 万円の募金を使って 2022 年 3 月と 6 月にマスク、使い捨て手袋、手指消毒液を送付しました。

3 月 24 日に、連携協定を結んでいる環境団体 KiriCAN とオンラインによる意見交換会を開催しました。

2. 循環型社会の形成に関する事業

県民への 4R の普及啓発を進め、循環型社会の形成をめざして、以下の事業を行いました。

(1) 海洋ごみ問題の普及啓発

大塚商会ハートフル基金の獲得により、4R 部会において仙台市荒浜での海岸ごみの調査や KHB（東日本放送）ぐりりホールでの海洋ごみセミナーを行いました。

(2) 4R の推進

廃棄物の処分場の見学会開催や仙台市アメニティせんだい推進協議会メンバーとして「3R わかる本 2022」の作成協力を行いました。KHB が日本財団の助成を受けて実施した海洋ごみ削減事業の実行委員会委員長として協力しました。

3. 自然共生社会の形成に関する事業

宮城県の多様な自然環境を守るために以下の事業を行いました。

(1) 森林資源活用の推進

みやぎ里山応援団を中心に、宮城県森林組合連合会との共催による森林トークイベントの開催や、みやぎ生活協同組合との協働による仙台市新緑祭へのブース出展を行いました。

(2) 水資源に関する調査と啓発

水部会において、毎年恒例の国土交通省「身近な水環境の全国一斉調査」の広瀬川調査への参加、県内の水源や水神を調査する「水の神様」調査を行いました。

(3) 食への取り組み

MELON 情報紙での食部会の活動紹介等を行いました。

4. SDGs 教育の推進（詳細報告は別紙）

地域における地球温暖化防止活動促進事業として取り組んだ「SDGs 環境出前講話」は、小中高校を対象に 27 校（キリバス編 17 校、南極編 6 校、気候変動編 4 校）で実施し、2,232 名が参加する取り組みとなりました。

「SDGs 教育プロジェクト」として、エフピコ環境基金の助成を受け、教科横断型環境学習プログラムの実践（小学校 10 校）を行いました。また、県内全小学校へリーフレットを配布し周知しました。

5. 政策提言、広報活動強化の取り組み

政策提言、広報に関して以下の活動を実施しました。

(1) 政策提言スキームの実施

理事会で決議した政策提言スキームに基づき、第 11 期中に 2 件の意見提出とメール等によるパブコメ募集の告知を行いました。

(2) 広報の強化（情報センター活動報告は別紙）

情報センターにおいて、WEB、メーリングリスト、SNS 等での広報・情報発信を継続するとともに、会員企業をブログ等で PR するための取材活動を行いました。

6. 部会の活動

今期もコロナ禍で制限のある中での活動でしたが、各部会ともオンラインの活用などを模索しながら活動を検討しました。部会の主な活動は前述の各テーマの項に記載しています。

7. ストップ温暖化センターみやぎの活動（詳細報告は別紙）
宮城県地球温暖化防止活動推進センターとして各種委託、助成事業の実施等を行いました。
8. EPO 東北の活動（詳細報告は別紙）
環境省からの請負事業として第 11 期も東北 6 県の環境活動の HUB 的役割を果たしました。
9. 自治体の主催事業への参加や各種会議委員としての参画（詳細はⅢ.を参照）

II. 主催イベント報告

のべ 5 回、400 名の参加となりました。（第 10 期：3 回、112 名）

【表 2】

	日時	タイトル	場所	講師	担当 部会	参加 者数
1	10月28日(木)	Go to 脱炭素セミナー 宮城県 2050年ゼロカーボン社会実現へ	Zoom ウェビナーによるオンライン開催	堀籠洋一氏 (宮城県環境生活部 環境政策課) 渥美裕介氏 (一般社団法人東松島 みらい都市機構) 秋葉良広氏 (みやぎ生活協同組合 環境管理室長) 三品茂子氏 (株式会社三創) 池澤美月氏(Fridays For Future Sendai)	ストップ温 暖化センタ ーみやぎ	117
2	11月6日(土) 14:00~15:30	森林トークイベント ~森林の豊かさと林業、環境を考える~	Zoom によるオンライン開催	竹中雅治氏 (登米町森林 組合参事) 及川結氏 (森林セラピスト)	ストップ温 暖化センタ ーみやぎ・ 里山応援 団	53
3	2月12日(土) 14:00~16:00	COP26 報告会 in 仙台 ~1.5℃目標に向かって~	YouTube によるオンライン開催	浅岡美恵氏 (NPO 法人気候ネッ トワーク理事長) 時任晴央氏 (Fridays For Future Japan)	ストップ 温暖化セ ンターみ やぎ	55
4	5月21日(土) 14:00~16:00	海洋ごみセミナー ~マイクロプラスチック問題と 私たちにできること~	ぐりりホール YouTube 配信	高田秀重氏 (東京農工大学教授) 株式会社エフピコ、 宮城県農業高等学校	4R 推進 部会	80
5	6月4日(土) 13:30~16:45	第 26 回会員と市民のつどい MELON フェスタ	エル・パーク 仙台 (オンライン 配信併用)	劇団仙台小劇場 ケンタロ・オノ氏 (日本キリバス協会) 長谷川公一理事長 石垣政裕理事	MELON	95

III. 協働取り組みの推進

1. 委員派遣・共催・名義後援・講師派遣・意見発表等について

(1) 行政・他団体の各種会議への委員派遣等

【表 3】

国	東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議構成員
宮城県	環境審議会委員、「ダメだっちゃ温暖化」みやぎ県民会議委員、宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進審議会委員
仙台市	環境審議会委員、E-Action 実行委員会委員、環境配慮事業者認定委員会委員、アメニティせんだい推進協議会委員、廃棄物対策審議会委員、杜の都の市民環境教育・学習推進会議委員、公園緑地協会評議員、仙台市食育推進会議委員、仙台市協働まちづくり推進会議委員
他市町村	大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会委員、多賀城市環境審議会委員 富谷市 2050 年ゼロカーボン戦略合意形成検討委員会委員
他団体	特定非営利活動法人 気候ネットワーク理事・運営委員、仙台広域圏 ESD・RCE 運営委員会委員、消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ委員

(2) 共催・名義後援

【表 4】

	開催日	名称等	内容	主催
1	11 月 23 日	りふ環境まるごとフェア 2021	名義後援	りふ環境まるごとフェア 実行委員会、利府町
2	2022 年 4 月 7 日	「あなたやお子様は“環境過敏症”ではないですか？」講演	名義後援	名取の環境を守る会
3	5 月～6 月	学習応援企画「ミライ思考 ゼロワン」	名義後援	株式会社学研スタディエ 東北事業本部 あすなる学院

(3) 講師派遣

【表 5】

	実施日	内容	対応者	主催
1	7 月 5 日	長谷川理事長「環境と社会」授業のゲスト講師	小林幸司事務局統括	尚綱学院大学
2	7 月 7 日	「ダンボール堆肥づくり」学習	4R 推進部会 (篠原富雄部会長)	みやぎ生協 環境活動委員会
3	11 月 4 日	「SDGs ～地球にいいことはじめよう～」講演	吉田美緒チーフ	宮城県高等学校家庭科 研究会
4	11 月 24 日	社員研修講師 「身近な地球温暖化対策「エコドライブ」	山形裕昭事務局員	ハリウコミュニケーションズ 株式会社
5	11 月 30 日	「エンカル消費・SDGs等の取組について」講演	小澤義春評議員	宮城県生活学校 連絡協議会
6	12 月 9 日	「SDGs地球にいいことはじめよう」講演	吉田美緒チーフ	宮城県立 亶理高等学校

7	2022年 5月11日	「マイクロプラスチック問題と3R」講演	吉田美緒チーフ	みやぎ生協 環境委員会
8	6月24日	金ケ瀬中学校1年授業 「SDGsを知ろう～自分たち にできること～」	吉田美緒チーフ	大河原町立 金ケ瀬中学校

(4) 政策提言・意見発表等

【表6】

	提出日	内容	提出先
1	12月11日	国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針の改定案に対する意見	環境省大臣官房 環境経済課
2	2022年 2月24日	「宮城県食品ロス削減推進計画(案)」に関する意見	宮城県環境生活部 循環型社会推進課

(5) 他団体主催イベント・企画の協力等

【表7】

	開催日	名称等	参加内容	主催団体
1	7月18日	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2021 (オンライン開催)	ストップ温暖化センターみやぎがオンラインでブース 出展	特定非営利活動法人 natural science
2	8月6日	エネルギー実験室 (たまきさんサロン)	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	仙台市環境共生課
3	10月2日	広瀬川1万人プロジェクト 秋の一斉清掃	「かわまちテラス開上」会場 に参加	広瀬川1万人プロジェクト 実行委員会
4	10月9日～ 10月13日	市民公益活動とNPOセンター 20年のあゆみ	うちエコ診断についてポスター 展示	いしのまきNPOセンター
5	11月23日	りふ環境まるごとフェア	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	利府町
6	2022年 1月8日	みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050	ストップ温暖化センターみやぎがブース出展	宮城県環境政策課

(6) 第11期末現在 MELON が加入している団体

【表8】

加入団体	加入形態	会費(口数)
認定NPO法人気候ネットワーク	正会員(団体)	50,000円(10口)
NPO法人地球環境市民会議(CASA)	会員(団体)	10,000円(2口)
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	正会員	40,000円(1口)

2. 第26回 MELON 会員と市民のつどい(詳細報告は別紙)

「第26回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ」は、実行委員会において、会員と役員や会員同士の交流を目的として第11期は対面での開催の復活をめざして検討し、時期を6月に変更して2年ぶりの対面イベントとして開催しました。(オンライン配信併用)

内容は、劇団仙台小劇場による環境劇と、ディスカッション「地球温暖化は止められるか？」をステージで開催し、会場では MELON を支える協同組合、部会・プロジェクトによるブース出展を行いました。

3. 委託事業・助成金等

【表9】

事業名	交付者	事業科目	事業期間
令和3年度東北環境パートナーシップオフィス運営業務	環境省	請負事業	2021年4月1日～ 2022年3月31日
令和3年度環境配慮行動拡大モデル事業コーディネート業務	青森県	請負事業	2021年4月28日～ 2021年12月28日
令和3年度うちエコ診断実施支援事業補助金	宮城県	補助金	2020年6月9日～ 2022年3月17日
令和3年度地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務	宮城県	委託事業	2021年6月7日～ 2022年1月31日
令和3年度地域における地球温暖化防止活動促進事業	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	補助金	2021年6月1日～ 2021年3月25日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本NPOセンター(東京海上日動火災保険株式会社)	委託事業	2021年4月1日～ 2021年9月30日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本NPOセンター(東京海上日動火災保険株式会社)	委託事業	2021年10月1日～ 2022年3月31日
2021年度地球環境基金助成金「キリバス共和国におけるトロニバイ人材(環境マスター)育成プロジェクト」	独立行政法人環境再生保全機構	助成金	2021年6月20日～ 2022年3月31日
令和3年度エフピコ環境基金	株式会社エフピコ	助成金	2021年4月1日～ 2022年3月31日
令和3年度大塚商会ハートフル基金	株式会社大塚商会	助成金	2021年9月28日～ 2022年3月31日

IV. 評議員会、理事会、監事会運営

1. 評議員会（3回開催）

【表10】

	日程	主要議題
第1回	2021年 8月23日	第10期事業報告・決算報告および監査報告の件、 役員を選任の件他
第2回	11月22日	第11期事業の進捗報告他
第3回	2022年 6月20日	第12期事業計画案・予算の件他

2. 理事会（4回開催）

【表11】

	日程	主要議題
第1回	2021年 8月2日	第10期事業報告・決算報告および監査報告の件、 役職員職務権限規程の一部改訂の件他
第2回	11月8日	第11～12期副理事長互選の件、基本金定期運用の件他
第3回	2022年 4月18日	就業規則改定、第12期役員会日程、 第12期事業計画第一次案の件他
第4回	6月6日	出張旅費規程改訂の件、第11期補正予算の件、 第12期事業計画第二次案・予算の件他

3. 監事会（1回開催）

【表12】

	日程	主要議題
第11期監事会	7月26日	第11期・理事の業務執行状況並びに決算の件

V. 維持会員の状況および部会・プロジェクト、事務局体制、ボランティアスタッフの活性化について

1. 維持会員の状況

第11期末の会員数は法人54（入会2退会3）・任意団体8（入会0退会1）・個人417（入会16退会26）合計479となり、前期末からマイナス12となりましたが、第10期末と比較すると、入会8⇒18、退会60⇒30と入会者は倍増、退会者は半減という結果になっています。

【表13】

会費の 納入状況	第11期の会費予算6,000,000円に対し、会費納入額5,597,000円となりました。
寄附の 状況	第11期合計で2,101,497円の寄附をいただきました。内訳は以下の通りです。 ◆ みやぎ生活協同組合からみやぎ生協 MELON 協力商品券売上による寄附額1,321,727円 ◆ 解散した協同組合日専連仙台から精算処理後残額による寄附額510,783円 ◆ 株式会社日専連ライフサービスから MELON 協力商品券売上による寄附額24,987円、スマイルポイントによる寄附額1,000円 ◆ 株式会社ウジェスーパーからレジ袋の売却益による寄附額73,000円 ◆ 5年会員制度による寄附額21名分42,000円 ◆ 他個人18名から合計寄附額128,000円

2. 部会・プロジェクト体制について

第 11 期の部会・プロジェクトの長は下記の通りでした。

【表 1 4】

部会・業務	部会長
ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会	長谷川公一
情報センター運営委員会	石垣政裕
水部会	山田一裕
食部会	冬木勝仁
4 R 推進部会	篠原富雄
MELON cafe	なし
自然エネルギー等普及プロジェクト	新沼慎二
みやぎ里山応援団	今野勇
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	村松淳司
エコ住宅部会	村松淳司

3. 事務局体制について

みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会の事務局体制は変わりません。

事務総長を除いた専任事務局スタッフは、当初スタッフ 13 名でスタートし、期中に 4 名退職 3 名採用で、現在スタッフ 12 名となっています。

4. ボランティアスタッフの活性化について

(1) 「ボランティアポイント制度」

ボランティアスタッフの活用に力を入れるための条件整備の一環として、2003 年度 6 月より導入した本制度（MELON の活動にボランティアとしてご参加いただいた会員の皆様に活動参加の実費の一部補填する意味で、1 回のボランティア参加に 1 個のスタンプを押し、スタンプが 5 個たまった時点で 1,000 円分の MELON 協力商品券と交換するもの）を第 11 期も継続運用しました。

• 第 11 期ボランティアポイント制度の活用状況

スタンプ 5 個到達枚数（MELON 商品券交換数） 13 枚（第 10 期 39 枚）
スタンプ 5 個到達者数（同一人物が何回到達しても 1 人と計上） 10 人（第 10 期 21 人）